

PP（ポリプロピレン）

PP マルポー370（タキロンポリマー／汎用ナチュラル）の物性値（参考値）

基本物性

項目	数値	備考
比重	0.91	実用樹脂で最も軽い部類
引張降伏応力	34 MPa	－
引張破壊時呼びひずみ	33 %	－
曲げ応力	40 MPa	－
曲げ弾性率	1,400 MPa	PE-HD より柔らかい
圧縮降伏応力	54 MPa	PE-HD（27 MPa）より高い
シャルピー衝撃強さ	8.1 kJ/m ²	PE-HD（47）より低い
ロックウェル硬さ（Rスケール）	103	－
荷重たわみ温度（0.45MPa）	129 °C	－
荷重たわみ温度（1.80MPa）	73 °C	－
連続使用温度	100 °C	PE-HD（80℃）より高い
線膨張率	$11.1 \times 10^{-5} \cdot K^{-1}$	大きい
耐燃性	可燃性	－
吸水率	0.01 % 未満	ほとんど吸わない

特徴

- 酸・アルカリにきわめて強い
- 実用樹脂でもっとも軽い
- PE-HD より耐熱が高い
- 低温で脆くなる

主な用途

- 表面処理・めっき - 薬液槽、治具、ラック、仕切り板
- 化学・水処理 - 配管部品、タンク内張り、ノズル
- 食品機械 - ライン部品、ホッパー（食品用途グレード）
- 搬送設備 - ガイド、当て材
- 治具 - 薬液に触れる保持具、軽量化が要る保持具

切削加工のポイント

- 線膨張率が大きい - $11.1 \times 10^{-5} \cdot K^{-1}$ と金属の10倍前後です。加工熱で寸法が動くため、測定は室温に戻してから行ってください。
- 柔らかく逃げる - 曲げ弾性率 1,400 MPa
と柔らかいため、工具に押されて寸法が出にくくなります。鋭利な刃物と確実な保持、軽い仕上げ切削が有効です。
- バリと毛羽 - 粘るため切り終わりにバリが残り、穴の出口が毛羽立ちます。抜け側の当て板が効果的です。
- 反りやすい - 結晶性樹脂で残留応力が出ます。厚板から薄板を削り出す場合は、両面から均等に落としてください。

他の材料との比較

比較対象	PP（ポリプロピレン）との違い
PE-HD	耐熱は PP が上（100℃ 対 80℃）、圧縮強さも PP が上。耐衝撃性と低温特性は PE-HD が大きく上



比較対象	PP（ポリプロピレン）との違い
PVDF	耐薬品性（特に酸）と強度・剛性は PVDF が上。PP は圧倒的に軽く安価で、耐アルカリ性では有利
PTFE	耐熱・耐薬品性は PTFE が圧倒的に上（連続260℃）。PP は圧倒的に安価で剛性も高い
ABS	切削性・接着性・塗装性は ABS が上。耐薬品性・耐水性・軽さは PP が上

当社の取扱仕様

項目	内容
メーカー	タキロンポリマー／佐藤鉄工
材質表記	PP(ポリプロピレン)
取扱形状	丸棒／球／板
取扱グレード	標準グレード／標準
色	ナチュラル(乳白)／ナチュラル
丸棒 外径	15～180 mm (21品目)
板 厚み	10～100 mm (14品目)
球 直径	0.09375～2 inch (16品目)
外皮	外皮無し
仕上げ	筋目
寸法公差	外径公差：-0.0mm～次の規格サイズまで / 長さ公差：-0.0mm～+10.0mm／板厚公差：-0.0mm～次の規格サイズまで / 長さ公差：-0.0mm～+10.0mm
取扱点数	51品目 / 366サイズ

KIRIURI.COM の取扱品

- PP ナチュラル（乳白）丸棒
- PP ナチュラル（乳白）板

掲載数値は参考値です。保証値ではありません。測定規格・試験片形状・グレード・ロットにより数値は変動します。設計・採用のご判断にあたっては、必ずメーカー発行の最新データシートでご確認いただくか、弊社までお問い合わせください。本表の数値に基づく判断により生じた損害について、弊社は責任を負いかねます。

出典：本ページの数値は、タキロンポリマーが公開する「物性資料 タキロンポリマー製品 関連物性」（p. 84、2026年8月取得）の PP マルポー370 の値からの転記です。原典に「記載数値は試験片厚さ5mmの実測値であって保証値ではない」と明記されています。数値は測定規格・グレード・ロットにより変動します。正確な値はメーカーの最新データシートをご確認ください。

